

町民と育む『うみ』の食と農 宇美町食育・地産地消推進計画を策定しました

町民一人一人が健康で心豊かに暮らせるよう食生活の改善による健康の増進を基本とし、「食育」の観点に立った町づくりを進めるため、地域や家庭、保育園、学校、生産者、医療機関、行政などが連携して「食育」に取り組み、総合的かつ計画的に推進するための指針として、「宇美町食育・地産地消推進計画」を策定しました。

基本方針

今後の食育・地産地消の推進のため、次の5つの柱のもと、具体的な施策を展開します。

①家庭・地域における食育の推進

家庭や地域における食育への関心と理解を深め、ライフステージに応じた健康づくりのための食生活改善を推進するとともに地域の食文化の伝承を図ります。

◎栄養学講座や地元農作物を活用した親子料理教室などの食育教室の開催 など

②学校・保育園などにおける食育の推進

幼児・児童・生徒が望ましい食生活の実践をとおして、健全な心身を培い、豊かな人間性を育てていくように、家庭・地域などと連携して食育を推進します。

◎地元の農産物を積極的に使った給食や子どもの年齢に応じたさまざまな体験活動を取り入れた食育の実践 など



【園庭で作った玉ねぎ収穫の様子】



【クッキング保育の様子】

③地産地消の推進

宇美町の農林業に対する町民の理解促進を図り、町産農産物の積極的な利用を拡大します。

◎JA粕屋が取り組む「かすやそだち」などの地産作物のブランド化事業の販売・利用の促進、町内および近郊のスーパーマーケットやJA粕屋南部プラザなどの小売店での地場農産物の売り場確保 など



【粕屋ブランドかすやそだち米のマスコット「ピカマイ君」と、かすやそだちのロゴマーク】

④生産者と消費者の交流促進

体験を重視した交流などにより、さまざまな恵みをもたらす農林業と農産物の生産者への理解促進を図ります。

◎農作物の収穫祭、親子で参加できる収穫体験などの食育と地産地消に結びつく交流事業 など



【粕屋地区農業振興連絡協議会南部支部ワールドカフェと落花生の収穫体験会】

⑤町民運動への展開

保健医療介護、商工業、農林業、教育など幅広い関係者が連携・協力し、町民ぐるみで食育・地産地消町民運動を展開します。

◎「宇美町食育・地産地消推進会議」の組織 など

※「宇美町食育・地産地消推進計画」は町ホームページで閲覧できます。

～町内での食育の推進に関する取組を紹介します～

大豆の作付、収穫、そして食べるという食育の一連の流れを、町内の小学生に体験を通して指導してくださっているのが宇美毅一さんです。

宇美さんは、ご自身の畑を提供し、大豆の作付と収穫を宇美小学校の5年生の児童に、さつま芋のなえ植えと収穫を2年生児童に体験させてくださっています。収穫した大豆は、挽いてきな粉にし、小学校でのもちつきの際にきな粉もちにしました。また、もちつきで使われるもち米もご自身が作ったものを提供されています。このきな粉は、給食のきな粉揚げパンにも使用されました。

子どもたちは、自らの手で作り、収穫したものを食べるという体験を通して、おいしく健康に食べることや、食べ物を大切にすることを学びました。



子どもたちの声

☆宇美さんからもらった大豆やもち米を使ったもちはとてもおいしかったです。とくに大豆を使ったきな粉もちがおいしかったので、たくさんおかわりをしました。

☆宇美さん、もち米と大豆の畑を貸してくださってありがとうございました。自分たちで収穫した大豆はとてもおいしかったです。

問い合わせ 農林振興課 農林振興係 ☎934-2223 Eメール: nourin@town.umi.lg.jp